



平成26年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年1月28日

上場会社名 株式会社 さくらケーシーエス
 コード番号 4761 URL <http://www.kcs.co.jp>
 代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 藤原 邦晃
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員経営企画部長 (氏名) 友石 敏也
 四半期報告書提出予定日 平成26年2月13日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東
 TEL 078-391-6571

(記載金額は単位未満を切り捨てて表示しております)

1. 平成26年3月期第3四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第3四半期	14,187	0.3	△40	—	41	△66.1	6	—
25年3月期第3四半期	14,149	5.5	57	—	121	—	△5	—

(注) 包括利益 26年3月期第3四半期 89百万円 (—%) 25年3月期第3四半期 △88百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第3四半期	0.54	—
25年3月期第3四半期	△0.45	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年3月期第3四半期	18,340	14,087	76.8
25年3月期	18,855	14,132	75.0

(参考) 自己資本 26年3月期第3四半期 14,087百万円 25年3月期 14,132百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	6.00	—	6.00	12.00
26年3月期	—	6.00	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	6.00	12.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	22,000	5.1	520	3.5	600	5.4	375	45.3	33.48

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
(注) 詳細は、添付資料3ページ「2. サマリー情報(その他)に関する事項」をご覧ください。

- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
(注) 詳細は、添付資料3ページ「2. サマリー情報(その他)に関する事項」をご覧ください。

- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
② 期末自己株式数
③ 期中平均株式数(四半期累計)

26年3月期3Q	11,200,000 株	25年3月期	11,200,000 株
26年3月期3Q	504 株	25年3月期	494 株
26年3月期3Q	11,199,505 株	25年3月期3Q	11,199,506 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表に対するレビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通しなどの将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績などは様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項などについては、【添付資料】2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報」をご覧ください。

[添付資料の目次]

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	2
2. サマリー情報（その他）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) セグメント情報等	8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当社及び連結子会社（以下、「当企業集団」という。）の当第3四半期連結累計期間の業績につきましては、一般法人向けのシステム構築業務及びシステム機器販売並びに自治体向けシステム機器販売が減少しましたが、株式会社シィ・エイ・ティの子会社化やアウトソーシング業務の増加によりシステム運用管理業務が増加したことに加え、金融機関向け取引が堅調に推移したことから、売上高は14,187百万円と前年同四半期比37百万円（0.3%）の微増となりました。

損益面につきましては、研究開発・人材育成費用の増加に加えて、競争激化により売上総利益率が低下した影響により、営業損失は40百万円と前年同四半期比98百万円の減益、経常利益も41百万円と前年同四半期比80百万円（66.1%）の減益となりました。一方、四半期純利益は、投資有価証券売却益があったことなどから、6百万円と前年同四半期比11百万円の増益となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

① 金融関連部門

三井住友フィナンシャルグループを含む金融機関向けシステム構築業務及びシステム機器販売が堅調に推移したことを主因として、売上高は4,376百万円と前年同四半期比301百万円（7.4%）の増収となりました。

② 公共関連部門

大手ベンダー向けシステム構築業務が増加する一方で、自治体向けのシステム機器販売が大きく減少したことから、売上高は3,141百万円と前年同四半期比146百万円（4.4%）の減収となりました。

③ 産業関連部門

平成25年4月に子会社化した株式会社シィ・エイ・ティの売上高計上によりシステム運用管理業務が増加しましたが、システム構築業務及びシステム機器販売が減少した影響が大きく、売上高は6,668百万円と前年同四半期比117百万円（1.7%）の減収となりました。

当企業集団の事業につきましては、システムの納入が第2四半期（7～9月）及び第4四半期（1～3月）に集中する傾向があり、売上高が第1四半期（4～6月）及び第3四半期（10～12月）において減少し、第2四半期（7～9月）及び第4四半期（1～3月）に増加するパターンとなり、四半期毎・半期毎の経営成績が変動いたします。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期連結会計期間末における財政状態は、総資産が前連結会計年度末比514百万円減少して18,340百万円に、純資産も前連結会計年度末比45百万円減少して14,087百万円となりました。この結果、自己資本比率は前連結会計年度末比1.8%増加して76.8%となっております。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成25年10月29日付の「平成26年3月期 第2四半期決算短信」において発表いたしました通期の連結業績予想につきましては、現時点での変更はありません。

2. サマリー情報（その他）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

なお、当社は、平成25年4月8日付で株式会社シィ・エイ・ティの発行済株式の全部を取得し、連結子会社としたことにより、連結子会社がケーシーエスデータ株式会社1社から2社に増加しております。

また、平成26年3月1日付で両社を合併させ、新会社名を株式会社KCSソリューションズとする予定であります。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

（税金費用の計算）

当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,008	4,719
受取手形及び売掛金	4,835	3,274
有価証券	3,300	2,300
商品	177	340
仕掛品	207	954
貯蔵品	15	41
その他	1,199	853
貸倒引当金	△7	△6
流動資産合計	12,737	12,475
固定資産		
有形固定資産	3,472	3,472
無形固定資産	448	486
投資その他の資産		
投資有価証券	1,422	1,199
その他	821	741
貸倒引当金	△47	△34
投資その他の資産合計	2,196	1,906
固定資産合計	6,117	5,865
資産合計	18,855	18,340
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,505	1,257
未払法人税等	66	25
賞与引当金	789	368
受注損失引当金	6	—
その他	961	1,057
流動負債合計	3,329	2,708
固定負債		
退職給付引当金	356	426
役員退職慰労引当金	95	101
その他	941	1,017
固定負債合計	1,393	1,545
負債合計	4,723	4,253

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,054	2,054
資本剰余金	2,228	2,228
利益剰余金	9,660	9,532
自己株式	△0	△0
株主資本合計	13,943	13,815
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	188	271
その他の包括利益累計額合計	188	271
純資産合計	14,132	14,087
負債純資産合計	18,855	18,340

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
四半期連結損益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
売上高	14,149	14,187
売上原価	11,505	11,561
売上総利益	2,643	2,625
販売費及び一般管理費	2,586	2,666
営業利益又は営業損失(△)	57	△40
営業外収益		
受取利息	4	3
受取配当金	28	22
不動産賃貸料	47	48
保険配当金	9	19
助成金収入	10	19
雑収入	20	11
営業外収益合計	121	125
営業外費用		
支払利息	22	19
不動産賃貸費用	26	24
雑損失	8	0
営業外費用合計	57	44
経常利益	121	41
特別利益		
投資有価証券売却益	—	43
特別利益合計	—	43
特別損失		
会員権評価損	45	—
特別退職金	71	52
特別損失合計	116	52
税金等調整前四半期純利益	4	32
法人税等	9	25
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△5	6
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△5	6

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失(△)	△5	6
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△82	83
その他の包括利益合計	△82	83
四半期包括利益	△88	89
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△88	89

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間（自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日）

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				その他	合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	金融関連 部門	公共関連 部門	産業関連 部門	計				
売上高								
外部顧客への売上高	4,075	3,288	6,785	14,149	—	14,149	—	14,149
セグメント間の 内部売上高又は振替高	1	23	523	547	—	547	△547	—
計	4,077	3,311	7,308	14,697	—	14,697	△547	14,149
セグメント利益	745	169	582	1,497	—	1,497	△1,439	57

(注) 1 セグメント利益の調整額△1,439百万円は、管理部門の費用のうち配賦の困難な費用等であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間（自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日）

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				その他	合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	金融関連 部門	公共関連 部門	産業関連 部門	計				
売上高								
外部顧客への売上高	4,376	3,141	6,668	14,187	—	14,187	—	14,187
セグメント間の 内部売上高又は振替高	8	11	474	494	—	494	△494	—
計	4,385	3,153	7,142	14,682	—	14,682	△494	14,187
セグメント利益又は損失(△)	695	282	516	1,495	—	1,495	△1,535	△40

(注) 1 セグメント利益又は損失の調整額△1,535百万円は、管理部門の費用のうち配賦の困難な費用及びのれんの償却額等であります。

2 セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。